

田村正幸 議長 不信任

反対討論

高橋 綾夫

提案理由通り議長として好ましくない事もあつたと思いますが、いきなり動議をだすのではなくまず議会運営委員会で正すべきと思います。その手順を踏んでいない不信任決議案には反対致します。またこの動議には町長選への何らかの思惑が感じられ、町民から「そんなことをしているよりきちんと行政チェックをし、町を良くする政策提案をしっかりと下さい」と叱られるのは明らかと考へ、私は本不信任決議案に反対致します。

南雲 正

議長の不信任要件は、その行為が町政運営や町民生活に重大な影響を及ぼした時に成立するものであり、提案された不信任要件は事実が確認されるものではないが、不信任要件の域に達するものではないことから提案には反対する。

しかしながら、議員の信頼と負託を受け議長に就任しながら議長辞任が議会に知られることなく、新聞報道等が先行してしまったことには信頼関係を裏切られた感があり残念なことである。

7月22日辞職が報道されたが後の人事、報酬等の節減を考慮し、辞職については早期に本人の決断を期待する。

角谷 勉

この2年間を振り返ると、議長の職としての適格性に欠け、議会運営に支障をきたしたという事例は思い当たらず、逆に公平性、中立性を重んじてきたと考える。

提案理由の全員協議会の開催の遅れは執行部との調整も必要であり、また、議長席での発言も、自らの発言の申し入れを行ってからだたと記憶している。正すべき点に値するとは思わない。

それ以上に、今回の提案には町長選挙の思惑が感じられてならない。

課題が山積する湯沢町である、湯沢町をどのように変え、どのように活性化を図るのか政策論争で大いに議論を戦わせていただくことを要望する。

関 忠夫

私は【議長不信任決議案】の提出の動きがあることを知り、不信任内容を確認したところ提出に値しないと思いました。

不信任決議案の提出は議会の混乱を招く恐れがあると思ひ、提出の取り止めを求め働きかけました。また、一部同僚議員との意見交換を行ったところ「不信任決議に値しない」との声が多数ありました。

多くの人の意見を取り入れることも必要と思ひ意見交換をいたしました。が、「不信任決議に値しない」との意見に賛成し、私もこの【議長不信任決議案】に反対させていただきます。

岸野 雅人

田村氏の3月議員全員協議会での議長席からの発言は、確かに失策ではあったが、反省しこの議会の冒頭でお詫びをしている。

委員会、委員外議員にも関わらず発言したとすれば軽率ではあるが、考えが口から出てしまうことは、本決議案提出者の半沢議員も本会議中によくされていること。

田村氏は議長として完璧とは言えないとしても、議題とするほどに議長としての資質が欠けているとは思えない。

よって不信任決議案に反対をします。